

さらにボロボロ

大阪市廃止・分割案

— 上 —

す。ボロボロぶりが鮮明です。

サービスは低下

前回の住民投票時の公明党大阪市議団のビラは、「大阪市を解体する『都構想』に反対」の見出しで、「住民サ

が低下してしまいます」「ニア・イズ・ベタ」の崩壊 『維新は』20〜30万人程度の自治体に再編するのが最適』と主張していたにも関わらず：『35万人〜69万人』と非常に大きな人口規模になりま

ストは全て大阪市民だけが負担させられる」「市民サービスが低下」と批判していました。

ダブル選後、橋下徹氏の「(公明の現職議員がいる大阪府と兵庫県の衆院計6選挙区に) 維新はエース級のメンバーを準備できて

す」と書いていました。

いる」の脅しを受け、賛成に転換し、維新と修正劇を繰り広げました。しかし、財源が4分の1に減ることや、コスト増で市民サービスが切り捨てられる制度の欠陥は残ったままです。

維新・公明の「修正」案

9日、関西テレビは「報道ランナー」(どこよりも早い! “大阪都構想” 大討論SP) を放送しました。公明党府本部の土岐恭生幹事長は、昨年末の法定協議会で維新、公明の賛成で決めた「特別区設置協定書(案)の作成に向けた基本的方向性」に「何点?」との問いに、「100点をつけました。

と問われ、土岐幹事長は、「前回反対したのは設計図が悪かった」、今回は、庁舎建設コストを削減するなど公明党が求めた4条件が実現したからと言いつつ、

トを削減するなど公明党が求めた4条件が実現したからと言いつつ、

トを削減するなど公明党が求めた4条件が実現したからと言いつつ、

トを削減するなど公明党が求めた4条件が実現したからと言いつつ、

司会者などに「土岐さん100点ですか」

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

「前回、住民投票で反対の姿勢やった」など

(つづく)